

## 付録A 用語集(五十音順)

### b

#### **BABOK®ガイド・アジャイル拡張版 (Agile Extension to the BABOK®Guide)**

アジャイル型コンテキストにおけるビジネスアナリシスのやり方をまとめた標準。IIBA®は、Agile Allianceと協力して、2013年に**BABOK®ガイド・アジャイル拡張版**の第1版を出版した。

#### **BPM (business process management)**

「ビジネス・プロセス・マネジメント」を参照。

### c

#### **COTS (commercial off-the-shelf)**

「市販ソフトウェア」を参照。

#### **CRUDマトリクス (CRUD matrix)**

「Create(生成)・Read(読み取り)・Update(更新)・Delete(削除)マトリクス (CRUDマトリクス)」。どのユーザー役割が、特定の情報エンティティにアクセスでき、そのエンティティの新規レコードを作成でき、既存のレコードのデータを閲覧でき、既存のレコードのデータを更新または修正でき、あるいは既存のレコードを削除できる権限を持っているかを示す2次元のマトリクス。同じ種類のマトリクスを使用して、ユーザーの代わりにどのプロセスが、生成、読み取り、更新、削除の権利を持っているかを示すこともできる。

### d

#### **DSDM (dynamic systems development method)**

「ダイナミック・システム開発方法論」を参照。

### e

#### **ER図 (entity-relationship diagram)**

選択した問題領域に関連するエンティティと、それらの関係を図で表現したもの。

### o

#### **OLAP (online analytical processing)**

「オンライン・アナリティカル・プロセッシング (OLAP)」を参照。

### r

#### **RACIマトリクス (RACI matrix)**

参画する人達の役割またはチーム・メンバーの責任、アクティビティまたは成果物を明確にするために使用するツール。責任を、(作業を実施する)実行責任者、(結果を承認する)説明責任者、(情報を提供する)協議先、完了後にその完成事項を知らせる報告先に分けて表現する。

#### **RFI (request for information)**

「情報提供依頼書 (RFI)」を参照。

#### **RFP (request for proposal)**

「提案要求書 (RFP)」を参照。

#### **RFQ (request for quote)**

「見積り要求書 (RFQ)」を参照。

#### **RFT (request for tender)**

「入札依頼書 (RFT)」を参照。

**ROI (return on investment)**

「投資収益率 (ROI)」を参照。

**S****SIPOC (suppliers, inputs, process, outputs and customers)**

プロセスに関連する概要レベルの要素の記述に用いるツール。さらに詳細を提供するために、プロセス・マッピングやスコープの内部/外部表示ツールと一緒に使用されることもある。

**SME (subject matter expert)**

「当該分野専門家」を参照。

**SOW (statement of work)**

「作業範囲指示書 (SOW)」を参照。

**SWOT分析 (SWOT analysis)**

「SWOT (強み、弱み、機会、脅威)分析」を参照。

**SWOT (強み、弱み、機会、脅威) 分析 (strengths, weaknesses, opportunities, and threats analysis (SWOT))**

イニチアチブにおける影響要因を把握し、それらがイニチアチブにどう影響するかを理解するために使用する分析モデル。「SWOT分析」とも呼ぶ。

**U****UAT (user acceptance test)**

「ユーザー受け入れテスト(UAT)」を参照。

**UML®(unified modelling language™)**

ソフトウェア・アプリケーションの構造、振る舞い、アーキテクチャーを記述するために、Object Management Group (OMG: オブジェクト・マネジメント・グループ) が定めた表記法。ビジネス・プロセスとデータ構造の記述にも使用できる。ビジネスアナリストが使用するUML®図の中で最も一般的なものが、ユースケース図、アクティビティ図、状態マシン図 (状態遷移図とも呼ぶ)、クラス図である。

**V****VSM (value stream mapping)**

「バリュー・ストリーム・マッピング」を参照。

**W****WBS (work breakdown structure)**

「ワーク・ブレイクダウン・ストラクチャー (WBS)」を参照。

**あ****アーキテクチャー (architecture)**

構造を持つものをそのコンポーネントとコンポーネント間の相互関係の視点から見た、現状と将来状態のデザインと構成と振る舞い。「ビジネス・アーキテクチャー」、「エンタープライズ・アーキテクチャー」、「要求アーキテクチャー」も参照。

**アクター (ビジネスアナリス)(actor (business analysis))**

ソリューションと相互作用する上で特定の役割を果たす人、装置、あるいはシステム。

**アンケート (questionnaire)**

回答の選択肢を付けて定めた一連の質問。回答者から情報を収集するために使用する。

**い**
**移行要求(transition requirement)**

現状から将来の状態に円滑に移行するためにソリューションが持たなければならない能力と満たさなければならない条件を記述する要求。チェンジが完了した段階で不要になる。この一時的な性質を持つという点で、他の種類の要求と異なる。

**石川ダイヤグラム (Ishikawa diagram)**

「フィッシュボーン・ダイヤグラム」を参照。

**イニシアチブ (initiative)**

何らかのビジネス問題を解決するため、あるいは特定のチェンジ目標を達成するために実施する具体的なプロジェクト、プログラム、あるいは行動。

**イベント (ビジネスアナリシス)(event (business analysis))**

組織ユニット、システム、プロセスが対応すべき発生事象または出来事。

**インスペクション (inspection)**

資格を持った担当者が事前に定義されたプロセスと基準に従って実施するワーク・プロダクトの公式なレビュー。不具合の特定と除去を行う。

**インターフェイス (interface)**

任意の2人の間および / またはシステムの間で共有する境界。これを通して情報が伝達される。

**インタビュー (interview)**

公式または非公式な設定で、個人またはグループに対して関連する質問を行い、その回答を記録して情報を引き出すこと。

**インプット (ビジネスアナリシス)(input (business analysis))**

アウトプットを生み出すために使用または変換される情報。タスクを開始するために必要な情報。

**う**
**ウォークスルー (walkthrough)**

参加者が、要求やデザインの妥当性確認を行うことを意図して、成果物または一連の成果物を通して、要求やデザインにおける誤り、不整合、脱落、不正確さ、矛盾を見つけるためのレビュー。

**受け入れ基準 (acceptance criteria)**

ステークホルダーの受け入れを得るために、要求、プロダクト、あるいはデリバリー・サイクルが満たさなければならない基準。

**運用サポート (operational support)**

システムまたはプロダクトの日常的な管理と維持に責任を持つステークホルダー。

**え**
**影響分析(impact analysis)**

提案されたチェンジが、ステークホルダーやステークホルダー・グループ、プロジェクト、システムなどに及ぼす影響を評価すること。

**エンタープライズ (enterprise)**

一つまたは複数の組織と、共有する一連の共通目標を追求するために組織が使用するソリューションからなるシステム。

**エンタープライズ・アーキテクチャー (enterprise architecture)**

エンタープライズのビジネス・プロセス、情報技術、人、業務運用、情報、プロジェクト、とそれらの関係を記述したもの。

お

**エンタープライズの準備状況のアセスメント(enterprise readiness assessment)**

エンタープライズが、ソリューションに伴うチェンジを受け入れる準備ができていて、それを有効活用できるかを示すアセスメント。

**エンド・ユーザー (end user)**

ソリューションと直接的な関わりを持つステークホルダー。

か

**オンライン・アナリティカル・プロセッシング(OLAP)(online analytical processing (OLAP))**

ユーザーが異なる観点から大量データを分析できるようにするビジネス・インテリジェンス・アプローチ。

**ガイドライン(ビジネスアナリシス)(guideline (business analysis))**

タスクを実行する理由や方法に関する指示または記述。

**概念実証 (proof of concept)**

外観、作業に使用する材料、あるいは最終的にステークホルダーが使用するプロセスとワークフローのモデリングを行わずに、ソリューションのデザインの妥当性を確認するために作成するモデル。

**外部インターフェイス (external interface)**

提案されたソリューションの外部に存在する相互作用。提案されたソリューションが相互作用する他のハードウェア・システム、ソフトウェア・システムのほか、人との相互作用のこともある。

**価値 (ビジネスアナリシス)(value (business analysis))**

あるコンテキストにおいて、ステークホルダーに対する値打ち、重要性、有用性。

**ガバナンス・プロセス (チェンジ)(governance process (change))**

適切な意思決定者が、関連する情報を使用してチェンジまたはソリューションに関する意思決定を行うプロセス。承認を得る手段や優先順位付けの手段も含まれる。

**観察 (ビジネスアナリシス)(observation (business analysis))**

要求を引き出すために、各自の作業環境におけるステークホルダーを調査し分析すること。

**監視 (monitoring)**

期待する結果と比較して、ソリューションがどの程度うまく実行されたかを判断するためにソリューションのデータを継続的に収集すること。「メトリクス」、[指標]も参照

き

**規制者(regulator)**

組織の外部で、標準の定義と施行に責任を持つステークホルダー。

**機能要求 (functional requirement)**

ソリューションが管理する振る舞いと情報の観点から、そのソリューションが持たなければならない能力。

**ギャップ分析 (gap analysis)**

エンタープライズの現状と、望ましい将来状態を比較して、対処する必要のある差異を特定すること。

**教訓プロセス (lessons learned process)**

プロセスやプロジェクトの学習と改善に用いるプロセス改善テクニック。チームが教訓セッション

で実施するミーティングでは、完了したばかりのイテレーションについて、何がうまくいき何がうまくいかなかったか、反省点は何か、そして継続または新規に開始する前にどのようにプロセスとテクニックを適応させるべきかについて探究する。

#### 競合分析 (competitive analysis)

業界の重要特性を収集して、長期的な収益性を予測し、最大の競合者のやり方を判断する構造的な評価方法。

#### 業務運用ルール (operative rule)

「行動ビジネス・ルール」を参照。

#### 業務上の意思決定 (business decision)

戦略、経営者の判断、コンセンサス、およびビジネス・ルールに基づいて実施される意思決定。一般的には、イベントへの応答として、あるいはビジネス・プロセス中の規定した時点で実施される。

#### 業務領域 (business domain)

「領域」を参照。

#### 業務領域の専門家 (domain subject matter expert)

ビジネス・ニーズまたはソリューション・スコープに関する深い知識を持つステークホルダー。

## け

#### 計画(plan)

何かを実行または達成するための詳細な構想。通常、一連のイベント、依存関係、期待する手順、スケジュール、結果または成果、必要な原材料とリソース、そしてステークホルダーに求められる参加方法からなる。

#### 決定分析 (decision analysis)

異なる決定がどのような結果につながる可能性があるかを調査してモデリングする意思決定のアプローチ。不確実な条件下で最適な意思決定を行う支援をする。

#### 検証 (ビジネスアナリシス)(verification (business analysis))

成果物が許容可能な品質標準を満たしていることを判断するプロセス。「要求の検証」も参照。

#### 検証された要求 (verified requirement)

レビューが済み、正確に定義され、標準またはガイドラインを遵守しており、受け入れ可能な詳細度を備えていると判断された要求。

## こ

#### コア・コンセプト(ビジネスアナリシス)(core concept (business analysis))

ビジネスアナリシスの活動にとって基本的な6個のアイデア (チェンジ、ニーズ、ソリューション、コンテキスト、ステークホルダー、価値)のそれぞれ。

#### 構造上のルール (structural rule)

「定義付けビジネス・ルール」を参照。

#### 行動ビジネス・ルール (behavioural business rule)

行為や行動やプラクティスや手順に義務を課す (あるいは禁止する) ビジネス・ルール。日々の業務の方向付けを行う(統制する)ことを目的とする。「業務運用ルール」とも呼ばれる。

#### ゴール (goal)

「ビジネス・ゴール」を参照。

**顧客 (customer)**

エンタープライズが生み出すプロダクトまたはサービスを使用する、あるいは使用する可能性を持つステークホルダー。顧客が契約上の権利または道義上の権利を持つ場合、エンタープライズはそれを満たす義務を負う。

**コスト便益分析 (cost-benefit analysis)**

チェンジの実行やソリューションの導入に必要な財務コストおよび財務以外のコストと、それによって得られる便益を定量化して比較する分析。

**コラボレーション (collaboration)**

複数の人が共通のゴールに向かって共に働く行為。

**コンセプト・モデル (concept model)**

問題領域の中核的概念 (基本的な用語) の意味を明らかにし、その集合的な構造を定義し、それを一貫して伝えるために必要な適切な用語集を指定する分析モデル。

**コンテキスト (context)**

チェンジに影響を及ぼし、チェンジから影響を受け、チェンジを理解することができる周囲環境。

**コンポーネント (component)**

明確な機能を実行する、より大きな全体の中で一意的に特定可能な要素。

**根本原因 (root cause)**

問題の原因で、それ以上深い原因を持たないもの。通常、可能性のある複数の原因の一つである。

**根本原因分析 (root cause analysis)**

根本的な原因を理解するために、特定の問題を体系的に調査すること。

さ

**サービス(ビジネスアナリシス)(service (business analysis))**

ステークホルダーの観点からの、ステークホルダーのために実行する義務もしくは作業。

**作業範囲記述書 (SOW)(statement of work (SOW))**

実行を要求されているサービスまたはタスクを文章で記述したもの。

**サプライヤー (supplier)**

特定の組織または組織ユニットの境界の外側にいて、プロダクトやサービスを組織に提供するステークホルダー。考慮が必要な契約上または道義上の権利と義務を有することがある。

**残留リスク (residual risk)**

元のリスクへの対応を実施、あるいはその計画を立案した後に残るリスク。

し

**シーケンス図(sequence diagram)**

相互作用を行うオブジェクトと、オブジェクト間で交換するメッセージを示す図。

**時間的事件 (temporal event)**

プロセス、ビジネス・ルールの評価、その他の反応を開始させるトリガーとなる時間に基づくイベント。

**システム (system)**

一連の望ましい成果を得るために、多様な方法で相互作用し、相互依存するコンポーネントの集まり。



**実験 (experiment)**

発見、仮説検証、既知の事実の提示のために制御された方法で実施される引出し。

**実装の専門家 (implementation subject matter expert)**

一つまたは複数のソリューション・コンポーネントの実行に関する専門知識を持つステークホルダー。

**市販ソフトウェア (commercial off-the-shelf (COTS))**

市場で入手可能なパッケージ・ソリューションで、大規模グループのユーザーに共通するニーズの全部またはその大部分に対応するもの。エンタープライズの具体的なニーズを満たすために、何らかの構成作業が必要になる場合もある。

**指標 (indicator)**

影響、アウトプット、アクティビティ、インプットの達成に向けた進捗状況を示す特定な数値的測定値。「メトリクス」も参照。

**状態遷移図 (state diagram)**

データ・エンティティやクラスのライフサイクルを示す分析モデル。

**情報提供依頼書 (RFI)(request for information (RFI))**

今後実施される可能性のある調達に関して、ベンダーの能力やその他の情報を収集することを意図した公式の引き出し手法。

**進化的プロトタイプ (evolutionary prototype)**

ステークホルダーからのフィードバックを反映して、継続的に修正し、更新するプロトタイプ。

**す****垂直プロトタイプ(vertical prototype)**

提案されたソリューションを掘り下げて、ソリューションの複数のレイヤーを通して、容易には理解できない、あるいは表面には現れない要求とデザインの考慮事項を明らかにするために使用するプロトタイプ。複数のソリューション・コンポーネント間の相互作用が含まれることもある。

**水平プロトタイプ (horizontal prototype)**

顧客向けのビューや、他組織とのインターフェイスなど、提案されたソリューションの一つのレベルにおける要求とデザインを調査するために使用するプロトタイプ。

**スイムレーン (swimlane)**

プロセス図中の水平または垂直の区域。特定のアクターや役割がどのアクティビティを実行するかを示す。

**スコープ (scope)**

管理、チェンジ、ソリューション、またはニーズの境界。

**スコープ・モデル (scope model)**

業務領域またはソリューションの境界を定義するモデル。

**ステークホルダー (stakeholder)**

チェンジ、ニーズ、ソリューションに関係を持つ個人またはグループ。

**ステークホルダー・プロキシ (代理) (ビジネスアナリスト) (stakeholder proxy (business analyst))**

ステークホルダーまたはステークホルダー・グループのニーズを代表するときの、ビジネスアナリストの役割。

**ステークホルダー分析 (stakeholder analysis)**

ビジネスアナリシス・アクティビティーを通して、チェンジの影響を受ける可能性のあるステークホルダーを特定して分析し、その影響度、関与、ニーズを評価すること。

**ステークホルダー要求 (stakeholder requirement)**

ビジネス要求を達成するために満たさなければならない特定のステークホルダーまたはステークホルダー・クラスのニーズの記述。ビジネス要求とさまざまな種類のソリューション要求との間をつなぐ架け橋の役割を果たすこともある。

**ステークホルダー・リスト (stakeholder list)**

チェンジ、ビジネス・ニーズ、提案されたソリューションから影響を受けるステークホルダーと、彼らの属性およびイニシアチブへの関与における特性を記述したもの。

**スポンサー (sponsor)**

ビジネス・ニーズの定義と、そのニーズを満たすソリューションの開発の着手に責任を持つステークホルダー。作業の実行を承認し、イニシアチブの予算とスコープを管理する。

**せ****成果物(ビジネスアナリシス)(artifact (business analysis))**

ビジネスアナリシス活動の一部として作成されたもののうち、ソリューションに関連するもの。

**成果物 (deliverable)**

関係者が提供することに合意した、検証可能な独自のワーク・プロダクトまたはサービス。

**制約条件 (ビジネスアナリシス)(constraint (business analysis))**

ソリューション候補またはソリューションの選択肢に制限または制約を課す、変更できない影響要因。

**前提条件 (assumption)**

正しいと想定されているがそれが正しいことが確認されていない、あるいは、現在は正しくても将来はそうでなくなる可能性を持つ影響要素。

**戦略 (strategy)**

望ましい一連のゴールまたは目標に到達できるように、エンタープライズの能力を活用するために選択したアプローチを記述したもの。

**そ****相互運用性(interoperability)**

システムがデータやサービスの交換によりコミュニケーションを行う能力。

**組織 (organization)**

単独の個人または運営体の管理下にある自治的な人の集まりで、共通のゴールと目標に向かって働く。

**組織的変革マネジメント (organizational change management)**

「変革マネジメント」を参照。

**組織能力 (organizational capability)**

エンタープライズ内部の機能で、プロセス、技術、情報などのコンポーネントからなる。組織がそのゴールに到達するために使用する。

**組織モデリング (organization modelling)**

エンタープライズ内に存在する役割、責任、上下関係を記述するために使用する分析テクニック。



**組織ユニット (organizational unit)**

組織やエンタープライズの中で認識される人の関連。

**ソフトウェア・エンジニア (software engineer)**

「開発者」を参照。

**ソリューション (solution)**

コンテキストにおいて一つ以上のニーズを満たす具体的な方法。

**ソリューション・コンポーネント (solution component)**

人、インフラストラクチャー、ハードウェア、ソフトウェア、装置、設備、プロセス資産、などのソリューションを構成する一部、およびそれらの任意な組み合わせ。

**ソリューション・スコープ (solution scope)**

ビジネス・ニーズを満たすためにソリューションが提供しなければならない一連の能力。

**ソリューション選択肢 (solution option)**

コンテキストにおいてニーズを満たす方法の一つの選択肢。

**ソリューション要求 (solution requirement)**

ステークホルダー要求を満たすソリューションの能力または品質。ソリューション要求は、機能要求と非機能要求あるいはサービス品質要求の二つに分類できる。

**ソリューション・ライフサイクル (solution life cycle)**

ソリューションが、着手から廃棄まで進展していく過程。

**た****ダイナミック・システム開発方法論(dynamic systems development method)**

着手時にコスト、品質、時間を定める一方、不測の事態に対しては提供する成果形態を変えることにより管理するプロジェクト・フレームワーク。

**タイムボックス (time-box)**

アクティビティーを実施する、あるいは規定された成果物を作成することが意図された時間枠。

**タスク (ビジネスアナリシス)(task (business analysis))**

ビジネスアナリシスの一部として公式または非公式に実行する個別の作業。

**妥当性確認 (ビジネスアナリシス)(validation (business analysis))**

成果物が意図した用途に適しているかどうかをチェックするプロセス。「要求の妥当性確認」も参照。

**妥当性確認された要求 (validated requirement)**

レビューが済み、期待する便益の提供に役立ち、ソリューション・スコープの範囲内にあると判断された要求。

**ち****チェックリスト(ビジネスアナリシス)(checklist (business analysis))**

レビューアが要求の検証に使用する標準品質要素の一式。

**チェンジ (change)**

ニーズに対応して変える行為。

**チェンジ・エージェント (change agent)**

チェンジの触媒となる人。

**チェンジ戦略 (change strategy)**

望むビジネス目標を達成するために、現状から将来状態に移行する計画。

**チェンジ・チーム (change team)**

チェンジを実行する任務を負った人を、組織横断的に集めたグループ。プロダクト・オーナー、ビジネスアナリスト、開発者、プロジェクト・マネジャー、適用の専門家、その他チェンジの実行に必要な関連スキルとコンピテンシーを持つ人からなる。

**知識エリア (ビジネスアナリシス)(knowledge area (business analysis))**

具体的なビジネスアナリシス・タスクをいくつか集めた専門知識分野。

**知識体系 (body of knowledge)**

特定のトピックに関する知識と一般に受け入れられているやり方を集約したもの。

**調査 (survey)**

一連の質問により、多くの人の意見や経験を収集し評価すること。

つ

**使い捨て型プロトタイプ(throw-away prototype)**

時には紙と鉛筆のような単純なツールを使用して、要求やデザインを素早く発見し、明確化するために用いるプロトタイプ。最終的なシステムの開発後に廃棄される予定である。

て

**提案要求書(RFP)(request for proposal (RFP))**

組織がベンダーからの正式な見積提案を求めるときに発行する要求文書。一般的にRFPは、特定のプロセスに従い、非公開入札によって提案を提出することを求め、公式の評価方法論に基づいて評価される。

**定義付けビジネス・ルール (definitional business rule)**

何かが必ず正しい (または正しくない) ことを示すルール。コンセプトや知識や情報を定義する基準を意図したルール。「構造上のルール」とも呼ぶ。

**適応型アプローチ (adaptive approach)**

学習と発見のサイクルに基づいてソリューションを進化させるアプローチ。フィードバック・ループを回すことにより、意思決定を最大限遅らせることを可能にする。

**テクニック (technique)**

ビジネスアナリシスのタスクの実行、あるいはアウトプット形成のための方法、手法、やり方。

**デザイン (design)**

ソリューションを理解しやすく表現したもの。詳細については、「主要な用語」(p.14) および「要求とデザイン」(p.18)を参照。

**テスト担当者 (tester)**

ソリューションが、ビジネスアナリストが定義した要求を満たしていることを検証する方法を決定し、その検証プロセスを実施する責任を持つ個人。

と

**当該分野専門家(subject matter expert (SME))**

「業務領域の専門家」、「実装の専門家」を参照。

**投資収益率 (ROI)(ビジネスアナリシス)(return on investment (ROI) (business analysis))**

プロジェクトまたは投資の収益性に関する評価指標。

に

**特性要因図 (cause-and-effect diagram)**

「フィッシュボーン・ダイヤグラム」を参照。

**トレーサビリティ (traceability)**

「要求のトレーサビリティ」を参照。

の

**ニーズ(need)**

対処すべき問題または機会。

**二次アクター (secondary actor)**

デザイン中のシステムの外部にいて、ユースケースの実行を支援するアクター。

**入札依頼書 (RFT)(request for tender (RFT))**

商品またはサービスにの提案提出に関するベンダーへの公開の招待状。

は

**能力(capability)**

エンタープライズが実施するアクティビティー、保有する知識、提供するプロダクトやサービス、支援する機能、意思決定のために用いる手法などの総合されたもの。

**バリュー・ストリーム・マッピング(value stream mapping)**

プロダクトまたはサービスの提供に必要なアクティビティーの流れを、事実に基づいて時系列に完全に表現したもの。

**反復 (ビジネスアナリシス)(iteration (business analysis))**

分析、開発、テスト、実行の漸進サイクルの一段階。

ひ

**ピア・レビュー (peer review)**

誤りや改善の機会を特定するために実施する、ワーク・プロダクトの公式または非公式なレビュー。「インスペクション」も参照。

**引き出し (elicitation)**

ステークホルダーその他の情報発生源から情報を繰り返して導き出し抽出すること。

**非機能要求 (non-functional requirement)**

要求の一種で、ソリューションのパフォーマンスや満たさなければならない品質属性を記述する。通常、非機能要求は測定可能で、ソリューションのデザイン全体に対する制約条件となる。

**ビジネス (ビジネスアナリシス)(business (business analysis))**

「エンタープライズ」を参照。

**ビジネス (ビジネス界)(business (business world))**

利益のために商業的、産業的、あるいは専門的な活動を実施する経済的システム。

**ビジネス・アーキテクチャー (business architecture)**

組織における共通理解を提供するために、エンタープライズの現状および将来の状態のデザイン、構造、および振る舞いを集めたもの。エンタープライズの戦略目標と戦術的要望の整合性を保つために使用される。

**ビジネスアナリシス (business analysis)**

ニーズを定義し、ステークホルダーに価値を提供するソリューションを推奨することにより、ある

状況下にあるエンタープライズにチェンジを引き起こすことを可能にする専門活動。

**ビジネスアナリシス・アプローチ (business analysis approach)**

特定のコンテキストでビジネスアナリシスを実施する際に用いる一連のプロセス、ルール、ガイドライン、経験則、およびアクティビティ。

**ビジネスアナリシス計画 (business analysis plan)**

特定のイニシアチブに関するビジネスアナリシス作業を実施するために、ビジネスアナリストが実行する予定のアクティビティを記述したもの。「要求マネジメント計画」も参照。

**ビジネスアナリシス作業 (business analysis effort)**

イニシアチブのライフサイクル期間中にビジネスアナリストが関与するアクティビティのスコープ。

**ビジネスアナリシス情報 (business analysis information)**

ビジネスアナリシス作業のインプットまたはアウトプットとして使用する、あらゆる種類のあらゆる詳細度の情報。

**ビジネスアナリシスのコミュニケーション計画 (business analysis communication plan)**

ビジネスアナリシスの実行中に、ビジネスアナリストが実施するコミュニケーションの種類、そのコミュニケーションの受け手、形式と頻度を記述したもの。

**ビジネスアナリシス・パッケージ (business analysis package)**

ビジネスアナリシス情報を表す文書、表現、その他の文章、マトリクス、図、モデルの集まり。

**ビジネスアナリスト (business analyst)**

職名、組織上の役割に関係なく、ビジネスアナリシスを実施する人。詳細については「ビジネスアナリストとは」(p.2)を参照。

**ビジネス・ケース (business case)**

提案されたソリューションを使用することにより実現される便益を、そのソリューションを入手して運用するためのコスト、労力、その他の考慮事項と比較して、一連の行動を論理的に正当化するもの。

**ビジネス・ゴール (business goal)**

組織が確立し維持しようとする状態または条件。通常は、定量的ではなく定性的に表現される。

**ビジネス・ニーズ (business need)**

戦略的または戦術的に対応するだけの重要性を持つ問題または機会。

**ビジネス・プロセス (business process)**

全体として一つのイベントに対応し、情報、文書、その他のリソースをそのプロセスの顧客へ直接価値を提供するアウトプットへ変換する一連のアクティビティのセットである。一つの組織の内部にあることもあれば、複数の組織をまたがることもある。

**ビジネス・プロセス・マネジメント (BPM)(business process management (BPM))**

手作業のプロセスや自動化された、プロセスを構築し、修正し、中止し、管理する方法を決定するマネジメント分野。

**ビジネス・プロセス・リエンジニアリング (business process re-engineering)**

業績効率の改善をはかるために、ビジネス・プロセスを再検討、再デザインすること。

**ビジネス・ポリシー (business policy)**

エンタープライズの行動を制御し影響を与える、非実行型の指示。

**ビジネス目標 (business objective)**

ビジネス・ゴールに到達したことを示す客観的で測定可能な結果。

**ビジネス問題 (business problem)**

エンタープライズや組織がゴールに到達することを妨げる、戦略的または戦術的な意味を持つ課題。

**ビジネス要求 (business requirement)**

なぜチェンジを開始し、その成功をどのように評価するかを示すゴール、目標、成果を記述したもの。

**ビジネス・ルール (business rule)**

ビジネスの管理下にあり、行動の規準となったり、判断や意思決定の基準となったりする、具体的、実行可能、テスト可能な指示。

**ビューポイント (viewpoint)**

要求をどのように表現し、その表現をどのようにまとめ、それをどう関連付けるかを定める一連の決りごと。

**評価 (evaluation)**

ソリューションに対する体系的かつ客観的なアセスメント。時間が経過してもソリューションが目標に合致するかどうか、その状態と有効性を判断し、より目標に沿えるようにソリューションを改善する方法を特定する。[指標]、[メトリクス]、[監視]も参照。

**表明された要求 (stated requirement)**

ステークホルダーが明確に示しているが、分析、検証、妥当性確認がされていない要求。表明された要求は実際のニーズよりも、ステークホルダーの要望を反映したものであることが多い。

**品質 (quality)**

一連の固有の特性がニーズを満たす程度。

**品質特性 (quality attributes)**

システムの全体的な品質を判断するために使用する一連の測定基準。「非機能要求」も参照。

**品質保証 (quality assurance)**

プロセスが、適切な品質レベルのプロダクトを確実に提供できるようにするための一連のアクティビティ。

ふ

**ファシリテーション (facilitation)**

人の関与、コラボレーション、生産性、相乗効果を上げられるような方法で、合意された目標に向かって、参加者全員を励まし導いていく体系的な技術。

**フィージビリティ・スタディ (feasibility study)**

提案された代替案が、エンタープライズの制約条件の中で技術的、組織的、経済的に実現可能であるか、また、望む便益をエンタープライズに提供できるかどうかを判断する評価作業。

**フィーチャー (feature)**

関連の強い一連の要求を実行し、ステークホルダー群に対して価値を提供するソリューションの特性で他と区別できるもの。

**フィッシュボーン・ダイヤグラム (fishbone diagram)**

根本原因分析において、対象とする問題の根本的原因と、その原因の間に存在する関係を特定

するための図解テクニック。「石川ダイヤグラム」または「特性要因図」とも呼ぶ。

**フォーカス・グループ (focus group)**

対話型のグループ環境で、特定のプロダクトやサービスや機会に関する意見や考え方を引き出すために結成するグループ。モデレーターが主導し、参加者は印象、嗜好、ニーズを共有する。

**フォース・フィールド分析 (force field analysis)**

チェンジを支持する力と反対する力を表す図形表現法。力を特定して、線の両側に両者（支持する力と反対する力）を配置してそれぞれの側の力の強さを見積る。

**不具合 (defect)**

プロダクトやサービスにおける不完全性。品質の低下や、望ましい属性、状態、機能性からの乖離を招く。

**ブレインストーミング (brainstorming)**

アイデアを批判抜きで素早く出して、幅広い多様な意見を集めることを目指すチーム・アクティビティー。

**プロジェクト (project)**

独自のプロダクト、サービス、所産を創造するために実施する有期的な業務。

**プロジェクト・スコープ (project scope)**

指定された特徴と機能を持つプロダクトやサービスや結果を提供するために、実行しなければならない作業。

**プロジェクト・マネジャー (project manager)**

ビジネス・ニーズを満たすソリューションを提供するために必要となる作業の管理に責任を持ち、スコープ、予算、スケジュール、リソース、品質、リスクなどのプロジェクト制約条件のバランスをとりながら、プロジェクトの目標を確実に達成する責任を持つステークホルダー。

**プロセス (process)**

一つまたは複数の定義済みのインプットを定義済みのアウトプットに変えることにより、特定の目標を達成するようにデザインされた一連のアクティビティー。

**プロセス・モデル (process model)**

プロセスとプロセスに影響を及ぼす要素に関する図と支援情報を集めたもの。プロセスのパフォーマンスのシミュレーションに使用できるプロセス・モデルもある。

**プロダクト (ビジネスアナリシス)(product (business analysis))**

イニシアチブの結果としてのソリューションまたはそのコンポーネント。

**プロダクト・スコープ (product scope)**

「ソリューション・スコープ」を参照。

**プロダクト・バックログ (product backlog)**

優先順位をつけ、見積りをされ、実装する可能性がある候補として特定された、一連のユーザー・ストーリー、要求、またはフィーチャー。

**プロダクト・ビジョン・ステートメント (product vision statement)**

ソリューションのゴールと、ソリューションが組織やエンタープライズの戦略を支援する方法について簡潔に書かれた記述または短い文章。

**プロトタイプ (prototype)**

ステークホルダーとともに要求を引き出す、あるいは要求の検証を行う目的で、ソリューションを



部分的あるいは近似的に模擬したもの。

**分解 (decomposition)**

問題を、その構成要素である部品に分解して、構成要素の分析を促進し理解を進めるテクニック。

**文書分析 (ビジネスアナリシス)(document analysis (business analysis))**

要求を引き出すために既存システムの文書を調査すること。

へ

**変革マネジメント(change management)**

チェンジ・イニシアチブでチェンジの人間的な側面に対応するために計画したアクティビティー、ツール、テクニック。主に、チェンジの影響を最も受ける人のニーズに対応する。

**変更管理 (change control)**

要求やデザインに対する変更を制御して、変更を実施する前に、求められた変更の影響を理解して合意をとるようにすること。

**ベンチマーク (benchmarking)**

意思決定、プロセス、サービス、あるいはシステムのコスト、時間、品質、その他の評価指標を、業界トップレベルの他社と比較して、改善の機会を特定すること。

ほ

**方法論(methodology)**

問題解決のために使用する手法、テクニック、手順、適用概念、ルールの体系をまとめたもの。

**ポリシー (policy)**

「ビジネス・ポリシー」を参照。

ま

**マトリクス(matrix)**

情報の表現に使用するテキスト形式のモデリングの一種で、表形式で表すことにより分類と相互参照を可能にする。

み

**ミッション・ステートメント(mission statement)**

エンタープライズの中核にある目的を表現する価値観とゴールの公式宣言。

**見積り (estimate)**

不確実性と未知の要素を体系的に考慮した、計画成果、リソース要求、スケジュールの定量的評価手法。

**見積り要求書 (RFQ)(request for quote (RFQ))**

ベンダーに価格とソリューション案を求める調達手法。

め

**メタデータ(metadata)**

データの構造と仕様の観点、あるいはオブジェクトの特定のインスタンス記述の観点から、データの使用方法が理解できるようにデータを記述したもの。

**メトリクス (metric)**

特定の時点で測定する定量化可能な指標。

## も

**目標(objective)**

「ビジネス目標」を参照。

**モデル (model)**

現実を単純化して表現したもの。特定の受け手に情報を伝達し、分析とコミュニケーションと理解を助けるために作成する。

## ゆ

**ユーザー (user)**

「エンド・ユーザー」を参照。

**ユーザー受け入れテスト(UAT)(user acceptance test (UAT))**

提供されたソリューションが、そのソリューションを使用するステークホルダー・グループのニーズを満たしているかどうかを評価すること。この評価は、定義済みの受け入れ基準に対して妥当性が確認される。

**ユーザー・ストーリー (user story)**

特定のステークホルダーに価値を提供するために必要な機能または品質を、簡潔に短く記述したもの。

**ユーザー要求 (user requirement)**

「ステークホルダー要求」を参照。

**ユースケース (use case)**

アクターがシステムを使用して特定のゴールに到達しようとするときに発生する、アクター（複数も可）とソリューションとの観察可能な相互作用を記述したもの。

**ユースケース図 (use case diagram)**

UML®が定義する図の一種。システムやプロダクトに関係するすべてのアクターとユースケースを記録する。

**優先順位付け (prioritization)**

対処する順序を決定するために、一連の項目の相対的な重要度を決定すること。

## よ

**要求(requirement)**

ニーズの理解しやすい表現。

**要求アーキテクチャー (requirement architecture)**

イニシアチブの要求と要求間の相互関係。

**要求管理ツール (requirement management tool)**

以下の機能を任意に組み合わせて支援を提供できる専用ソフトウェア。引き出しとコラボレーション、要求モデリングおよび/または仕様作成、要求トレーサビリティ、バージョン管理とベースライン管理、追跡と監視のための属性定義、文書作成、要求の変更管理。

**要求欠陥 (requirement defect)**

要求の問題または誤り。欠陥が発生するのは、要求の品質が低いため（「要求の検証」を参照）か、要求を満たしたときに、ステークホルダーに価値を提供するニーズを記述していないため（「要求の妥当性確認」を参照）である。

**要求成果物 (requirement artifact)**

図、マトリクス、文書、モデルなどの要求に関する情報を含むビジネスアナリシス成果物。

**要求属性 (requirement attribute)**

要求管理を支援するために使用する、要求の特性または性質。

**要求の検証 (requirement verification)**

要求が正しく定義され、許容範囲内の品質レベルに達していることを確実にするために要求を評価する作業。要求が十分に定義され、構造化されており、ソリューション開発チームがそれらをソリューションのデザイン、開発、導入に確実に用いることができるようにする。

**要求の妥当性確認 (requirement validation)**

期待する便益の提供に役立つことと、ソリューション・スコープの範囲内に収まっていることを確実にするために要求を評価する作業。

**要求のトレーサビリティ (requirement traceability)**

一連の要求とデザイン間の関係を、最初のステークホルダー・ニーズから実際に適用されたソリューションまで追跡できる能力。トレーサビリティは、要求やデザインの発生源を特定し、チェンジにより影響を受ける可能性のある他の関連要求とデザインを把握することができるので、変更管理を支援することができる。

**要求のライフサイクル (requirement life cycle)**

要求が、発生から廃棄まで経過して進んでいく段階。

**要求の割り当て (requirement allocation)**

要求を、実行する特定のソリューション・コンポーネントに割り振るプロセス。

**要求パッケージ (requirement package)**

主として要求に関するものを集めた特別な種類のビジネスアナリシス・パッケージ。要求の集合のベースラインを表すこともある。

**要求文書 (requirement document)**

「要求パッケージ」を参照。

**要求マネジメント (requirement management)**

要求の引き出しとコラボレーションに関する作業の全部または一部の計画、実行、監視、コントロール、および要求の分析とデザイン、そして要求のライフサイクル・マネジメント。

**要求マネジメント計画 (requirement management plan)**

特定のチェンジ・イニシアチブに関するビジネスアナリシス計画の一部で、そのイニシアチブで要求をマネジメントするために使用する具体的なツール、アクティビティ、役割と責任について記述したもの。「ビジネスアナリシス計画」を参照。

**要求モデル (requirement model)**

要求を現状または将来状態の観点から抽象的に(通常は図で)表現したもの。

**要求ワークショップ (requirement workshop)**

慎重に選定したステークホルダーのグループが、熟練した中立の立場のファシリテーターの指導の下で、共同作業で要求を定義し詳細化する構造化されたミーティング。

**予測型アプローチ (predictive approach)**

イニシアチブのライフサイクルの早期に計画とベースラインを確定して、コントロールを最大化し、リスクを最小化しようとするアプローチ。

## ら

**ライフサイクル (life cycle)**

ある項目またはオブジェクトが、発生から廃棄まで経過していく一連の変化。

## り

**リスク(ビジネスアナリシス)(risk (business analysis))**

チェンジ、ソリューション、またはエンタープライズの価値に対して不確実性が及ぼす影響。「残留リスク」も参照。

**リスク・アセスメント (risk assessment)**

リスクの特定、分析、評価。

**リポジトリ (repository)**

特定のトピックに関するすべて情報が格納され、検索可能な現実または仮想の設備。

## れ

**レトロスペクト(retrospective)**

「教訓プロセス」を参照。

**領域 (domain)**

問題を解決するプログラムまたはイニシアチブにおいて、一連の共通する要求、用語、機能を定義する知識の範囲。

## わ

**ワークショップ(Workshop)**

規定されたゴールの達成を目的とする、主要ステークホルダーが出席する、ファシリテーション付きの焦点を絞ったイベント。

**ワーク・ブレイクダウン・ストラクチャー (WBS)(work breakdown structure (WBS))**

目標を達成して必要な成果物を作成するために実行する作業を、成果物指向で階層的に分解したもの。プロジェクトの全体スコープを系統立てて定義する。

**ワーク・プロダクト (ビジネスアナリシス)(work product (business analysis))**

要求開発プロセスで、ビジネスアナリストが用いる文書、メモ、図をまとめたもの。

**割り当て (allocation)**

「要求の割り当て」を参照。